

ISO (International Organization for Standardization : 国際標準化機構)

ISO は国際標準化の促進と協力を目的とする国際機関で、1947年に設立された。ジュネーブ（スイス）に本部を置く非政府組織で、世界各国の国家標準機関で構成される。2023年11月現在、169か国の国家標準機関が加盟。

ISO の発行する標準（規格類）には、国際規格(IS: international standard)の他、技術仕様書(TS: technical specification)、公開仕様書(PAS: publicly available specification)、技術報告書 (TR: technical report) があり、電気・通信及び電子技術分野を除く全産業分野をカバーする。なお、IEC(International Electrotechnical Commission : 国際電気標準会議)が電気・電子技術分野の標準化を担い、ITU(International Telecommunication Union : 国際電気通信連合)が電気通信分野をカバーしている。

規格類の作成/見直しは、技術委員会(technical committee)及び分科委員会(sub-committee)で、製造者、販売者、購入者、ユーザー、業界団体、規制当局、非営利団体、研究機関など多様なステークホルダーが参加し、透明性・公正性を保ったプロセスで実施される。ISO の規格類は、企業や組織の競争力や効率性を向上させるだけでなく、製品やサービスの品質や安全性を確保する重要な役割を果たしている。また、国際的に共通の規格が存在することにより、貿易や国際ビジネスの円滑化、技術やイノベーションの促進なども意図している。当初は製品の性能や評価方法が主な標準化の対象であったが、時代とともに変遷し、サービス、社会システム、SDGs などへ大きく拡大している。標準化の対象に合わせて、現在 825 の委員会が設置され、約 25000 の規格類が発行されるに至っている。

ISO で最も有名で最も広く利用されている規格はISO 9001(品質マネジメントシステム)であり、ISO 14001 (環境マネジメントシステム)、ISO/IEC 27001 (情報セキュリティマネジメントシステム)、ISO 45001 (労働安全衛生マネジメントシステム) などとともに、マネジメントシステム認証に世界中で活用されている。認証をはじめとする規格に対する適合性評価についても標準化が行われており、IEC と共同で ISO/IEC 17025 (試験所及び校正機関) や ISO/IEC 17020 (検査機関) をはじめとする ISO/IEC 17000 シリーズが開発され広く活用されている。

(中川 梓)